吉田　巧さん

FC 当別のメンバー

ここに書ききれないエピソードや写真は当別町ホームページ「現代を活きる＋」でご覧ください。

サッカーを通じて人としての成長を

昨年の１月からFC当別のコーチとして子どもたちへサッカーを指導している吉田巧さんへお話を伺いました。

コーチになるまで

札幌市出身で、小学校２年生から地元の少年団でサッカーを始めました。中学校ではサッカー部に入り、ポジションはディフェンダー。高校では、部活には入らずに地元の大人たちのチームでサッカーを続けながら、高校２年生から少年団でコーチを始め、授業が終わった後に指導を行っていました。社会人になってからもコーチを続けていましたが、ほどなくして仕事の都合で辞めることとなりました。

３年前に当別町へ引っ越してきて、近所の公園でサッカーをしている子どもたちを見かけ、サッカーをやっているのか尋ねたところ、少年団がないと言われました。その後、人づてに少年団はあるものの低学年の子どもは受け入れておらず、廃部に向かっているということを聞きました。自分の子どもにもサッカーをさせたかったことや、サッカーをしたい子どもたちがいるのにできなくなる状況を何とかしたいと思い練習見学を経て、コーチとして関わらせていただくことになりました。

成長を支える日々

練習は火・木・土の週３回行っており、基本的に私がメインとして週３回指導をさせてもらっています。仕事との両立は大変ですが、それ以上に子どもたちと一緒にサッカーをすることが楽しく、パワーをもらっています。練習内容は自分で考えていて、昨年指導者養成講習会を受講し、C級ライセンスを取得しました。これまでサッカーを続けてきて自信はありましたが、ライセンス取得の過程で自分はまだまだサッカーの根本を理解していなかったことに気付くことができ、非常に勉強になりました。特に、各選手が何をすべきかを理解し、適切な行動を取る「個人戦術」の重要性を学びました。小さいうちからサッカーの原理原則を指導していけば、大きくなった時にレベルの高いことを求められても対応できるはずです。まずは中学生になっても通用する技術を身に付けられるように指導をしています。

また、子どもたちには、技術的なことだけではなく、コミュニケーション能力や判断力、挨拶、礼儀など日常生活や社会に出て活躍する上でも大切なことをサッカーを通じて身に付け、一人の人間として成長して欲しいです。その成長を後押しするため、子どもたちの行動を見逃さないよう常に周りを見ています。

当別の子どもたちにサッカーを

子どもたちがサッカーをする場所を失わないために、サッカーをしたい子がサッカーをできる環境を提供するために、コーチとして努力し学び成長を続けます。そして、よりサッカーを楽しくできる場を作り、この先もずっと当別町でサッカーが続いていくように力を尽くしていきたいです。

少しでもサッカーをやりたい気持ちがある子はいつでも練習にきてください。ぜひ一緒に楽しくサッカーしましょう。

FC当別の活動をInstagramで紹介しています。興味のある方は、ぜひDMでご連絡ください

@FCTOBETSU